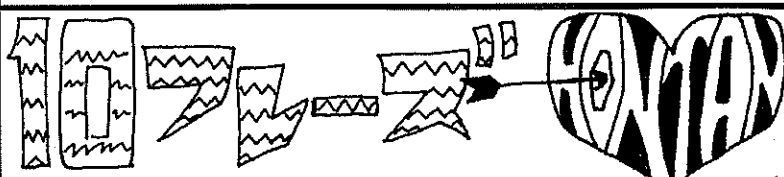


# HONTAN

図書館ボランティア「本探」が 第 12号  
旬の図書館情報をお知らせします 10月号

ボサッと、  
してんじやないぞ  
(おかし)



今月の10フェーズのお題は...  
「私がキザだ」と思うフェーズ」です。  
うわ...と思うもよし、からこいと思う  
もよし、皆こんも一緒に「キザなセリフ  
フェーズ」探してみませんか？

**とおか**がキザだ  
と思う...  
「おまのミッキーは、俺にまかせて  
おけ」  
ミッキーの中の人、二人に芽生えた絆。

松岡圭祐 913.6/M  
『ミッキーの愛慕』

**花蓮**がキザだ  
と思う...  
「俺がみつけた」  
大事にしてくれる人は私のことなん  
か見つけてくれないと言う彼に出。

有川浩 913.6/A-B-2  
『別冊図書館戦争II』

**珠**がキザだ  
と思う...  
「あばよ、カオル」  
嘘で作り上げた人生の中で、とて  
おきの別れの文句。

浅田次郎 913.6/A  
『霧笛荘夜話』

**瀧**がキザだ  
と思う...  
「ぼくの胸がきみの  
墓なのだ」  
ドラマとはまた違う雰囲気。  
突然の出会いと、別れ。

石田衣良 913.6/I  
『美丘』

**はな**がキザだ  
と思う...  
「逃げましょ、一緒に」  
女の子の「想い人には言われない台  
詞」NO.1だと思ふ。

宮木あせ子 913.6/M  
『花宵道中』

**はな**がキザだ  
と思う...  
「下衆の趣味は御  
い下なませ。」 地図である私が  
讀ん(た)語るのは主人の殺し。

平山夢明 913.6/H  
『独白するユニバーサル横  
XILTR』

**いと**がキザだ  
と思う...  
「あまジュリエット、どうしてまだそん  
なに美しいのか」  
悲しい台詞なのにロマンチックな一言

シェイクスピア 932/S-5  
『ロミオとジュリエット』

**き**がキザだ  
と思う...  
「からだは律儀じゃないけれど、  
心の中はいつでも律儀」  
約束を守る男ってかっこいい

川上弘美 913.6/K  
『ニジノユキヒコの  
恋と冒険』

**卯**がキザだ  
と思う...  
「いえ...これぞ帝国軍人の三男で  
すから」  
度々登場するここにはるセリフ。

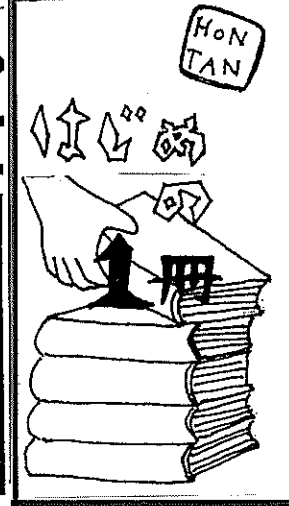
梶野一樹 913.6/S-[I]  
『GOSICK』

**N**がキザだ  
と思う...  
「残念ながら、つかまりっこはないね。おれ  
は魔法をこころえているんだからね。」  
20冊相って本当にキザ!

江戸川乱歩 918.68/E-21  
『江戸川乱歩全集21巻 謎しき  
人』夜光人間

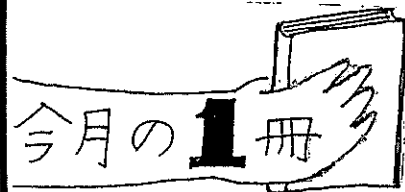
よくわかる HONTANの 伊藤 館長 田舎 第5巻  
発行 卯月

～図書館所蔵の北海道の山関連本特集～  
・『新版 北海道百名山』梅沢俊・伊藤健次 291.1/H  
・『山歩き北海道花めぐり』梅沢俊 291.1/U  
・『目指せムラウシ 薬岩から始まるステップアップ登山』宮下岳夫 291.1/M  
★オス★ この3冊は山の写真も写っていて読みやすい!



赤川次郎  
を読むなら

『三姉妹探偵団』 913.6/A1 (閉架図書) <卯月>  
母親が亡くなり、父親と娘3人で暮らす佐々木家。父が出張に出ている夜、  
三姉妹が住んでいた家が火事で焼失してしまう。しかも、焼失した父親の部屋の押  
入れから若い女性の全裸死体が見つかり...  
父親の無実を証明するため、三姉妹は立ち上がる。三姉妹探偵団の筆頭は  
家族の母親代わりでしかりした女子高生達の次女夕里子。そいつのんびり屋で低血圧の長女  
綾子。守銭奴でませている中学生の珠美。  
赤川次郎の作品は、「三毛猫ホームズ」や「セーラー服と機関銃」が有名ですが、  
このシリーズはキャラクターが面白い。ちよと変わった「三姉妹」あはれも読んでみては？



穂村弘 著

914.6/H

「絶叫  
委員会」

町には、偶然生まれては消えていく無数の詩が溢れている。不合理でナンセンスで真剣で可笑しい、天使的な言葉たちについての考察。運動会の挨拶で、校長先生が発した言葉。「みんな、空を見てみなにゃー！」理不尽な要求をするクライアントにキレた

ビジネスマンが、会議の席で発した言葉。「でも、さっきそうおっしゃったじゃねえか！」

本来言いたかったはずの「みんな空を見てください」「さっきそうおっしゃったのではないですか？」というフレーズと、ほんの少し違うだけなのに、そこに爆笑や失笑が生まれ、その言葉たちは詩に変わる。

詩人・穂村弘が、恐ろげき観察眼で街の中から見つけ出した、作者いわく「天使的な言葉」

変な言葉のはずなのに、妙なリアリティがあるのが不思議。

吹き出す危険があるので、公共の場では読まないことを勧めます。

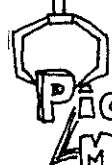
< 花蓮 >

コラム  
まゆの

# 本探力

NO.3 当て字

「当て字」  
先月号では  
作家の造語  
について書き  
ましたが、今



HONTAN  
雑誌の書評を  
紹介

タウインナ  
10月号(198号)

p.18~33

浅田次郎の  
壮大な中国

月は作家の「当て字」についてお話ししたいと思います。造語然り当て字然り、代表的な作家は夏目漱石。皆さんがよく使う「沢山」や「浪漫」などの言葉を、夏目漱石はカタカナやひらがなから漢字に当てていて、現代の日本に定着しています。

そして「貫女」も実は当て字。夏目漱石や尾崎紅葉が使用したのが始まりです。また、文豪たちは、「あなた」に独自の漢字を当てています。樋口一葉は「貫郎」、国木田独歩は「貫様」と書いて「あなた」。パソコンの変換機能の中には近年新しく作られた言葉がまだまだ隠されているのかもしれない。

それを探するためにいつも読まないような本はいかがでしょう？

☑「大どまり、十三夜」樋口一葉(913.6/H)

大河小説『蒼穹の昴』を大特集。

あらずい、歴史背景だけでなく、人物相関図、イラスト、オリジナル科学試験(カルトクイズ)まで目白押し。アウンサーの中谷有紀さんとの対談で『蒼穹の昴』に対する浅田先生の思いを知ったり、読んでない人は読んでみたくなる、読んだことのある人はもう一度読みたくなるかも知れません。

浅田作品ブックガイドも載っているので浅田作品に興味を持った方もぜひ。

浅田次郎『蒼穹の昴上・下』913.6/A



今回夏休みを挟んだこともあり発行が遅れて申し訳ありませんでした。

ところで皆さんは「高校生はこれを読め！」という本はご存じですか？ 実はその本のページの一部に私たちも参加させていただいているのです。そのきっかけを作ったのもこのHONTANニュース... 縁とはどこで繋がるのかわからないものどつくづく実感する体験でした。



<卯月>



2010年4月~2010年9月  
貸出し件数

ランキング

(指定図書はのぞく)

順位 書名 着者名

1. オスト・ボーイズ [アンソニーバーキン]

## 贖罪

[湊かなえ]

## フリーター、家を買う

[有川浩]

## 植物図鑑

[有川浩]

## 神様のカルタ

[夏川草介]

※今回は1位以下  
13回と同票だったため。

## Report ☆

今年の学祭では、HONTANについて、改めて知ってもらおうということで、HONTANについての紹介を展示することにしました。「HONTAN」って何やってるの？と思った方。「HONTAN」って何？という方。ぜひお越し下さい。

<卯月>